

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 6 年 5 月 31 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社上滝
所 在 地	〒850-0842 長崎県長崎市新地町 5 番 1 7 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 上滝 満
担 当 者 連 絡 先	電 話：095-821-7196
	メー ル：eigyo@jotaki.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.jotaki.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 27 年（西暦 1952 年）に創業し、土木・建築工事を請け負う総合建設会社です。自社船団を所有し、長崎県の港湾を中心とした海上土木工事の請負事業を実施しています。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	ICT 施工の活用による業務の効率化及び生産性、品質の向上。	毎年 1 現場以上 ICT 施工を実施する。
□環境 ✓社会 ✓経済	地域雇用の維持。	採用に向けての企業説明会（年 5 回） インターンシップ（年 3 回以上受け入れ） 県内学校卒の採用人数 3 名以上
✓環境 ✓社会 □経済	社会貢献活動（清掃活動）の実施。	県内各所の社会貢献活動を 毎年 30 回以上実施する

（次項へ続く）

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	ハラスメントの相談窓口の設置をしている(男女1名ずつ)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントの相談窓口の設置をしている(男女1名ずつ)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	ISO45001を取得している。 毎月1回安全衛生委員会を実施している。 安全施工パトロールを毎月実施している。 代表取締役含む安全施工パトロールを年5回実施している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年1回のストレスチェックの実施をしている。 また、その結果に応じて該当者へのフィードバック			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	継続雇用制度により、希望者は定年後も引き続き雇用している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	OJT、社外講習への積極的参加をしている スキル向上の推進をしている				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	同一労働同一賃金の原則に則っており、 定期昇級による正社員登用もしている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	年1回の人間ドック補助金制度を設け、従業員の健康維持・向上に努めている。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	各事業所、各現場において廃棄物の分別を適切に行っている。											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	会議をオンラインで実施し、移動時間を削減することにより、自動車から排出される温室効果ガスを削減している。 電力会社のCO2削減プランに加入する。 排出ガス性能の良い建設機械を使用している。							7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	危険有害業務に関する法令に則り、義務化された内容を各現場に周知、掲示し安全施工パトロールの際に実施確認をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2							13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001を取得している。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001を取得している。 ICT施工を採用し、品質の向上に取り組んでいる。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	災害対応の協定を締結しており、災害時には協定に基づき対応し、自治体と業界団体による災害対応訓練にも積極的に参加している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	長崎県内全域において清掃活動に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	県内業者を協力会社として積極的に活用している。								8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。） ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。																			

令和 7 年 7 月 30 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	長崎県長崎市新地町 5 番 1 7 号
名 称：	株式会社上滝
代 表 者：	代表取締役 上滝 満
登録年月日：	令和 6 年 6 月 2 8 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	ICT 施工の活用による業務の効率化及び 生産性、品質の向上。	毎年 1 現場以上 ICT 施工を実施する。	4 現場において ICT 施工を実施した。
□環境 ✓社会 ✓経済	地域雇用の維持。	採用に向けての企業説明会（年 5 回） インターンシップ（年 3 回以上受け入れ） 県内学校卒の採用人数 3 名以上	企業説明会 10 回。 インターンシップ 3 回。 県内学校卒の採用人数 6 名。
✓環境 ✓社会 □経済	社会貢献活動（清掃活動）の実施。	県内各所の社会貢献活動 を 毎年 30 回以上実施する	県内各所において 清掃活動を 36 回実施した。